

- 企画展 学校の夏休み・冬休み P1~2
- トピック展示『黒電話』 P3
- 遺跡の範囲内で工事をおこなう際には、
届け出が必要です P4
- コラム『藤の花』 詰石麻貴 P4

企画展

学校の夏休み・冬休み ～その歴史をたどる～



令和7年

4月10日(木)～7月31日(木)

会場：旧見付学校
(磐田市見付 2452-1)

開館時間：9時から16時30分

休館日：月・祝日の翌日

入館料：無料

問合せ先：TEL・FAX 0538-32-4511

年度が変わり新学期が始まりました。いつの時代も子どもたちにとって指折り数えた待ち遠しい夏休み・冬休み。今回の企画展は、明治時代から令和まで夏休みや冬休みの学校休業日の歴史を掘り下げます。

いつの頃から夏休みや冬休みがあったのでしょうか。また、楽しい夏休み・冬休みを苦しめていた宿題は、昔はどのような内容だったのでしょうか。

学校休業日の変遷を辿るとともに、学習帳や作品、日記、「夏休みの友」「冬休みの友」や子どもや保護者宛てに出された通知などから、子どもの休みの暮らしを紹介します。ぜひ、ご来場ください。



左：冬休の友（昭和9年）
右：絵日記（昭和30年）

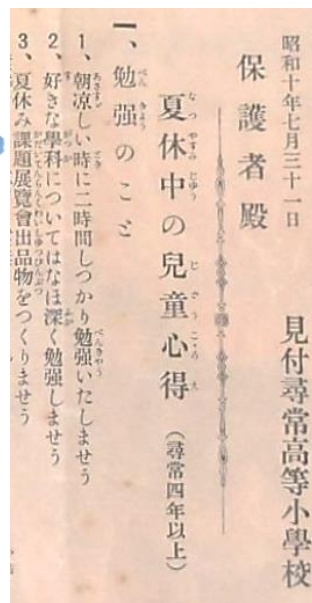
みどころ

ラムネなどは飲まぬがよし!? 「休中の心得」

「休中の心得」とは「長い休みを過ごすうえでの注意事項」のことです。明治10年代は夏休みは6月の3週間でしたが、明治時代の終わり頃になると8月1日から31日までの1ヵ月になりました。休み中の生活習慣の乱れを心配した学校は、「休中の心得」を配り、夏休みの過ごし方の指導をしました。

明治41年(1908)に出されたものには、氷やラムネなどは飲まぬがよし、昭和10年(1935)に出されたものには2時間しっかり勉強するよといった文言がみられます。

夏休み中の児童心得(昭和10年)



みどころ

全国的にある宿題ではない!? 「夏休みの友」

明治時代の終わり頃に、授業の復習を兼ねた学習問題を集めた宿題帳を夏休みの宿題として配るようになりました。



左：夏休みの友(昭和9年)
右：夏休みの友(昭和11年)

静岡県では、静岡県教育会が明治41年に「暑^{しよちゆう}中学校」と名付けた宿題帳を出版し、各学校で使われるようになります。大正時代には、「夏季(夏期)練習帳」という名称となり、昭和に入ると「夏休みの友」として夏休みの宿題の定番となります。

このような宿題帳は、全国各地で様々な名称で出版されました。静岡県民に馴染み深い「夏休みの友」という名前は、日本全国すべての都道府県で使われてはおらず、岩手県や埼玉県、大阪府、熊本県、沖縄県などで使用されていたようです。

※府県全域ではなく一部地域や一部の学校での使用も含む

みどころ

挑戦してみよう！ 100年前の夏休みの課題

大正10年(1921)、現在の浜松市にあった和地尋常高等小学校の5年生に出された夏季休業中課題を展示します。

理科の科目では、『自分でよく研究したもの、観察したものを書いて御覧なさい』という課題があり、約100年前にも自由研究の課題があったことがわかります。

このほか、漢字の読み書きや、体積、面積を求める問題、地理の問題もあります。ぜひ、会場で挑戦してみてください。



トピック
展示

昭和 100 年
～思い出をふりかえって～

『黒電話』

令和 7 年 4 月 5 日 (土) ～ 7 月 27 日 (日)
磐田市埋蔵文化財センター 1 階トピック展示

2025 年は、昭和元年 (1926) から数えて 100 年目の年です。埋蔵文化財センター 1 階トピック展示では、昭和の思い出をふりかえる『黒電話』をテーマにした展示します。ぜひ、ご覧ください。

場 所 埋蔵文化財センター (磐田市見付 3678-1)
開館時間 8 時 30 分から 17 時
休 館 日 4/29、5/3・4・5・6、7/21



📞 ダイアル式電話機『黒電話』とは

一家に一台電話がほぼ普及した昭和 45 年頃、家庭にある電話といえば『黒電話』でした。黒電話の中でも多く使用されていたのが、「600 型 (自動式卓上) 電話器」です。電気機器製造メーカーが日本電信電話公社 (通称: 電電公社/NTT の前身) の委託を受けて製造していました。

600 型電話器は、昭和 37 年 3 月に東京都下昭島局での商用試験を皮切りに、全国的な商用試験を経て、翌年から全面的な導入となり、各家庭へと普及していきました。

送受話器

電話をかける際は、まず送受話器を手に取ります。左手で送受話器を持ち、右手でダイヤルを回すことを想定し、左側に本体と送受話器を繋ぐコードがつけられています。



ダイヤル回転盤

電話番号を回すためのダイヤルです。かけたい番号の数字の穴に指をいれ、時計回りに回します。指とめにあたった指をぬき、もとの位置にダイヤルが戻ったら次の番号を回します。

指とめ

📞 懐かしの『黒電話』にさわれます！

今回の展示では、『黒電話』にさわれるコーナーも設置します。電話線は繋がっていませんので、安心して送受話器をはずして、番号の穴に指をいれダイヤルを回してみてください！



黒電話

遺跡の範囲内で工事をおこなう際には、届け出が必要です

磐田市には、300 を超える埋蔵文化財（遺跡）が存在しています。しかし、埋蔵文化財は、地下に埋もれているため、知らずに工事をおこなうと埋蔵文化財が破壊されたり、失われてしまう恐れがあります。遺跡の範囲内で掘削を伴う工事をおこなう場合は、その規模に関係なく、計画の段階で文化財課にご相談ください。

土木工事などの目的で遺跡の範囲内で工事をおこなう場合、文化財保護法の定めにより、工事着手の 60 日前までに届け出をすることが義務づけられています。

遺跡の範囲確認は、文化財課窓口のほかメールでも受け付けています。市ホームページでは遺跡が発見されていない地域（大字）一覧表（※）を公開していますのでこちらもご利用ください。

また、工事中に遺跡を発見された場合は、必ず文化財課へご連絡ください。

埋蔵文化財も将来に伝えていくべき大切な文化財です。ご理解とご協力をお願いします。

（※）令和 7 年 4 月 1 日現在の情報です。新たに遺跡が発見された場合、その都度一覧表を修正しますので、随時確認してください。



見付端城遺跡
工事立会いの様子



市 HP 該当ページ

問合せ先 文化財課 TEL:0538-32-9699/FAX:0538-32-9764

職員リレー コラム

藤の花

詰石 麻貴

まだまだ寒い日もありますが、春の花の便りが届く季節になりました。これからの季節、楽しみにしているのが藤の開花です。



国指定天然記念物 熊野の長藤

藤の花を知ったのは、小学校の校歌がきっかけだったかと思います。

授業で地域の歴史を学習する中で、熊野御前と長藤について知り、校歌の歌詞に“優しく咲いている”と登場した藤は、熊野の長藤を指しているのかな、などと思ったものです。

とても待ち遠しく感じている藤の開花ですが、今年は熊野の長藤だけでなく、熊野の長藤から接ぎ木したといわれている東光寺（牧之原市）にある藤の花も見に行きたいと思っています。



熊野御前と長藤についてはコチラ

編集後記 あっという間に令和6年度が終わり、新年度が始まりました。今年度も様々なイベントを予定しています。文化財だよりでも紹介していきますので、お楽しみにっ♪

発行：磐田市教育委員会事務局教育部
文化財課(磐田市埋蔵文化財センター)
住所：〒438-0086 磐田市見付 3678-1
電話：0538-32-9699

◆WEB版は市HPから閲覧できます。 [磐田 文化財だより](#)



検索